

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 ミナトエレクトロニクス株式会社  
 コード番号 6862 URL <http://www.minato.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 若山 健彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 門井 豊  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 045-591-5611

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	1,735	—	△26	—	△36	—	△29	—
26年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △32百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△1.33	—
26年3月期第3四半期	—	—

(注) 27年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、26年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	—	%
27年3月期第3四半期	2,218	—	975	—	—	42.5
26年3月期	—	—	—	—	—	—

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 942百万円 26年3月期 ー百万円

(注) 27年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、26年3月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	—	32	—	13	—	1	—	0.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率については記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規 1社 (社名) 株式会社イーアイティー、除外 1社 (社名)  
 (注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	23,163,192 株	26年3月期	20,455,152 株
27年3月期3Q	9,987 株	26年3月期	8,837 株
27年3月期3Q	22,569,272 株	26年3月期3Q	18,430,572 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期及び前事業年度末との対比は行っていません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動、急激な円安による輸入コストの上昇など懸念材料はあるものの、政府等による積極的な金融政策をはじめとする経済政策の継続により、企業収益や雇用情勢に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調で維持しております。

このような状況のもと、当社におきましては、平成26年4月8日付で株式会社イーアイティを完全子会社化し、システム開発関連事業を当社グループに取り込みました。既存のデバイス関連事業では中国広東省東莞市への連絡事務所の増設や、タッチパネル関連事業での新規商材の取扱い開始などに取り組むほか、システム開発関連事業を当社グループ三つ目の柱と位置付け、大型案件の確保、システム開発技術者の稼働率向上など収益の拡大に積極的に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結会計期間におきましては、システム開発関連事業は概ね順調に推移したものの、デバイス関連、タッチパネル関連事業においては、新規顧客開拓は着実に進んでおりますが、既存顧客に対する販売がやや低調に推移いたしました。

以上の結果、当社の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,735百万円、営業損失26百万円、経常損失36百万円、投資有価証券を売却したことによる特別利益10百万円を加え四半期純損失29百万円となりました。

セグメント別の業績につきましては、次のとおりであります。

なお、事業セグメントの費用として捉えていた子会社の一般管理費を、当第3四半期連結累計期間より当社グループ全体の全社費用に含めて表示しております。これは、当社グループ全体の組織変更を契機に報告セグメントの見直しを図り、各セグメント業績をより適切に表示するためのものであります。

#### ①デバイス関連

デバイス関連事業につきましては、産業機器メーカー及び車載メーカーに納入したオートハンドラ関連製品への変換アダプタの売上効果が出ております。また、業務提携先の製品(デバイス移載機)の売上も追加拡大されております。海外展開した拠点において売上拡大の効果が表れてきているほか、プログラム書込みサービスでは、スマートメーター及び車載メーカー関連の書込み売上も増加しておりますが、国内既存顧客への販売は計画をやや下回る状況がありました。

これらの結果、当セグメントの売上高は435百万円、セグメント利益(営業利益)は68百万円となりました。

#### ②タッチパネル関連

当セグメント製品のうち、タッチパネル分野においては、ATM用中型タッチパネルの売上については計画を若干下回る結果となり、自動販売機向けの小型タッチパネルの売上についても生産調整により計画を下回る結果となりました。また、大手ディスプレイメーカー向けの大型タッチパネルの売上はほぼ計画通りの結果となりました。デジタルサイネージ分野においては、大型ショッピングモール向け及び流通マーケット向けのデジタルサイネージシステムが開発の遅れにより大幅に計画を下回る結果となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は764百万円、セグメント利益(営業利益)は10百万円となりました。

③システム開発関連

第1四半期連結累計期間より、株式会社イーアイティーを連結の範囲に加え、新たにシステム開発関連事業を営んでおります。当セグメントは、情報処理システムの請負開発及び技術者の派遣を主な事業としております。当事業では、ITビジネスの浸透や金融機関のシステム導入などの大型案件拡大による景況感の改善で受注高は安定的に推移しております。要員拡大が予定より進まず売上高は前年と比べるとほぼ横ばいとなりましたが、技術者の稼働率が高い状態を維持でき、高い営業利益率となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は520百万円、セグメント利益（営業利益）は50百万円となりました。

④その他事業

当社は、新たな育成事業として環境エレクトロニクス事業の立ち上げを推進しております。太陽光発電事業（売電を含む。）への取り組みの他、LED、無電極ランプ、電解水生成器販売など新たな商流づくりを継続し、地道に成果を積み上げております。

これらの結果、当セグメントの売上高は14百万円、セグメント利益（営業利益）も5百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間の総資産は、2,218百万円となりました。

流動資産は、1,294百万円となりました。主な内訳は、受取手形及び売掛金539百万円、現金及び預金415百万円であります。

固定資産は、923百万円となりました。主な内訳は、土地635百万円、有形固定資産その他140百万円、投資その他の資産77百万円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間の負債は、1,242百万円となりました。

流動負債は、920百万円となりました。主な内訳は、短期借入金587百万円、支払手形及び買掛金139百万円であります。

固定負債は、321百万円となりました。主な内訳は、再評価に係る繰延税金負債109百万円、長期借入金94百万円、退職給付に係る負債86百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間の純資産は、975百万円となりました。主な内訳は、資本金1,471百万円、資本剰余金343百万円、利益剰余金△787百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、第1四半期連結会計期間より連結決算を開始いたしました。これに伴い、平成27年3月期の業績予想は連結での業績予想を開示しております。業績の予想といたしましては、平成26年11月7日に公表いたしました「平成27年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」のとおり、平成26年5月9日に公表いたしました通期連結業績予想のまま修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期会計期間において、簡易株式交換の方法により、株式会社イーアイティーを完全子会社としたため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間  
(平成26年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	415,779
受取手形及び売掛金	539,898
商品及び製品	104,937
仕掛品	65,984
原材料及び貯蔵品	89,497
その他	78,606
流動資産合計	1,294,703
固定資産	
有形固定資産	
土地	635,450
その他	1,312,581
減価償却累計額	△1,172,361
有形固定資産合計	775,670
無形固定資産	
のれん	47,236
その他	23,399
無形固定資産合計	70,635
投資その他の資産	
その他	121,710
貸倒引当金	△44,624
投資その他の資産合計	77,085
固定資産合計	923,392
資産合計	2,218,095
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	139,560
短期借入金	587,832
1年内返済予定の長期借入金	56,650
未払法人税等	5,785
賞与引当金	4,388
製品保証引当金	700
その他	125,429
流動負債合計	920,346
固定負債	
長期借入金	94,518
役員退職慰労引当金	16,280
退職給付に係る負債	86,158
その他	124,940
固定負債合計	321,897
負債合計	1,242,244

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間  
(平成26年12月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	1,471,814
資本剰余金	343,306
利益剰余金	△787,004
自己株式	△998
株主資本合計	1,027,119
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	5,132
土地再評価差額金	△89,339
その他の包括利益累計額合計	△84,206
新株予約権	32,938
純資産合計	975,851
負債純資産合計	2,218,095

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	1,735,209
売上原価	1,189,132
売上総利益	546,076
販売費及び一般管理費	572,876
営業損失(△)	△26,800
営業外収益	
受取賃貸料	8,641
その他	1,873
営業外収益合計	10,515
営業外費用	
支払利息	16,082
その他	4,032
営業外費用合計	20,114
経常損失(△)	△36,399
特別利益	
投資有価証券売却益	10,513
特別利益合計	10,513
税金等調整前四半期純損失(△)	△25,885
法人税、住民税及び事業税	4,026
法人税等合計	4,026
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△29,911
四半期純損失(△)	△29,911

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△29,911
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△2,262
その他の包括利益合計	△2,262
四半期包括利益	△32,173
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△32,173
少数株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年4月8日付で、株式会社イーアイティと簡易株式交換を行いました。この結果、第1四半期累計期間において資本剰余金が115百万円増加し、また平成26年9月において新株予約権の行使が行われ資本金及び資本剰余金がそれぞれ31百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金1,471百万円、資本剰余金が343百万円となっております。